

実践⑤ 谷山北公民館読書ボランティア「こだま」(鹿児島市)

読書ボランティア「こだま」は、鹿児島市にある谷山北公民館図書室「きたぼっぼ」を拠点に11名で活動しています。

平成20年10月に谷山北公民館が開館し、図書室も併せて開室されました。開室当初から絵本を楽しむ親子の姿が数多く見られました。そんな中、「来室する子供たちが一緒に絵本を楽しむことができれば…」と考え、図書室サポーター有志で結成されたのが読書ボランティア「こだま」です。これまで毎月1回、勉強会を行い、読み聞かせの技術向上やわらべうた遊びについて学んでいます。



これらの勉強会で学んだことを、司書の皆さんと一緒に実践しているのが、「きたぼっぼおはなしのじかん」と「土曜おはなしの時間」です。「きたぼっぼおはなしのじかん」は、毎週水曜日の午前10時30分から午前11時まで、乳幼児と保護者を対象に、絵本の読み聞かせやわらべうた遊びを行っています。「土曜おはなしの時間」は、毎月第3土曜日の午前10時30

分から午前11時まで、幼児・小学生を対象に、絵本の読み聞かせや詩の朗読、素話、わらべうた遊びなどを行っています。どちらの「おはなしのじかん」も、内容に偏りがないように、事前の勉強会で全体のプログラムを考えています。

その他、「こだま」の活動の場として、「きたぼっぼ子ども読書まつり」があります。このイベントは、毎年7月に開催されています。出演するのは、谷山北地域の幼稚園・小学校の読書グループや地域文庫などの団体です。「こだま」は、出演とサポートに携わっています。内容は、小さい子供の部屋と小学生の部屋に分かれての読み聞かせやわらべうた遊び、ペープサート、人形劇など多彩です。また、各グループの活動報告の展示も行い、読書活動啓発も行って



ます。このイベントを谷山北公民館と一緒に企画・運営しているのが谷山北公民館読書グループ連絡会です。谷山北地域における子ども読書活動の更なる充実を図ることを目的として、平成23年に結成されました。現在、地域の読書グループ・親子読書会など15グループが所属しており、「こだま」は、公民館と連絡会をつなぐパイプのような役割を果たしています。連絡会は年2回行われ、読書活動の進め方や、読書まつり開催計画などについて話し合っています。そのうちの1回は、読み聞かせ等について学ぶ実践的な研修会を実施しています。



子供たちと保護者が、本に親しみ、楽しく過ごしている姿を見ることができるのは、大きな喜びです。これからも、地道に勉強会を重ね、たくさんの子供たちを、素晴らしい本の世界へ誘っていきたいと思います。